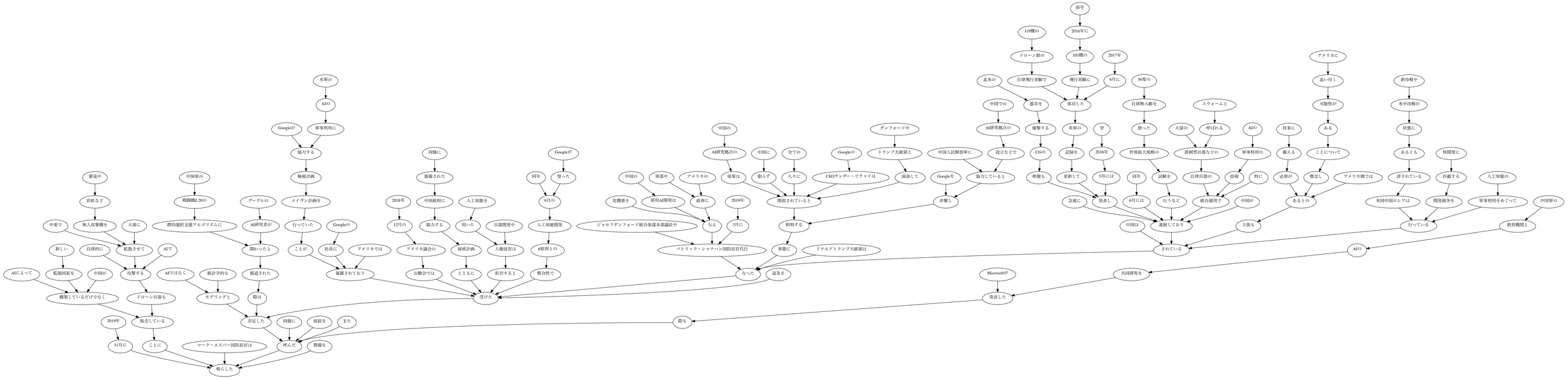
前年
2016年に
119機の
ドローン群の
103機の
2017年
自律飛行実験で
飛行実験に
6月に
北米の
成功した
中国での
都市を
AI研究拠点の
爆撃する
米軍の
CGの
記録を
映像も
更新して
発表し
急速に
中国は
進展しており
されている
56隻の
自律無人艇を
使った
世界最大規模の
試験を
行うなど
統合運用で
中国が
主張も
スウォームと
呼ばれる
大量の
蜂群型兵器などの
自律兵器の
技術
特に
AIの
軍事利用の
アメリカに
追い付く
可能性が
ある
ことについて
将来に
備える
必要が
整備し
アメリカ側では
あるとの
新冷戦や
米中冷戦の
状態に
あるとも
評されている
米国中国ロシアは
開発競争を
行っている
核開発に
匹敵する
人工知能の
軍事利用をめぐって
中国軍の
教育機関と
AIの
共同研究を
Microsoftが
発表した
際も
米軍の
AIの
Googleが
軍事利用に
協力する
極秘計画
メイヴン計画を
行っていた
ことが
Googleの
社員に
アメリカでは
暴露されており
受けた
同様に
暴露された
中国政府に
協力する
2018年
12月の
アメリカ議会の
公聴会では
人工知能を
用いた
秘密計画
兵器開発や
人権侵害は
拒否すると
Googleが
同年
贈った
6月の
人工知能開発
6原則との
整合性で
中国の
AI研究拠点の
成果は
中国に
限らず
全ての
人々に
関放されていると
Googleの
CEOサンダー・ピチャイは
面談して
ダンフォードや
トランプ大統領と
中国人民解放軍に
協力していると
Googleを
非難し
設立などで
CGの
映像も
更新して
発表し
急速に
中国は
進展しており
されている
豊
2018年
5月には
同年
6月には
行うなど
試験を
世界最大規模の
蜂制型兵器などの
自律兵器の
技術
特に
AIの
軍事利用の
統合運用で
中国が
主張も
あるとの
ことについて
整備し
必要が
アメリカ側では
評されている
米国中国ロシアは
開発競争を
行っている
匹敵する
人工知能の
軍事利用をめぐって
中国軍の
教育機関と
AIの
共同研究を
Microsoftが
発表した
際も
中国の
軍部や
アメリカの
政界に
危機感を
軍用AI開発は
与え
ジョセフダンフォード統合参謀本部議長や
2019年
3月に
パトリック・シャナハン国防長官代行
事態に
ドナルドトランプ大統領は
なった
追及を
受けた
中国軍の
戦闘機J-20の
翼竜や
彩虹など
中東で
無人攻撃機を
大量に
拡散させて
新しい
自律的に
AIで
攻撃する
AIによって
監視国家を
中国が
構築しているだけでなく
ドローン兵器も
2019年
販売している
11月に
ことに
グーグルの
AI研究者が
膨大な
選択肢を
関わったと
AIではなく
統計学的な
モデリングと
際は
否定した
同様に
波紋を
また
呼んだ
警鐘を
マーク・エスパー国防長官は
鳴らした